

空き家の有効活用に向けて民間団体と協定締結

松山市では、適切に管理されていない空き家の所有者に助言や指導するなど、空き家対策を行っています。

民間の実務的な専門性を生かし、対策をさらに進めるため、7月10日、本市と松山市



空家等対策協議会の中から、9団体が「松山市の空き家対策推進に向けた連携と協働に関する協定」を締結しました。締結式では、野志市長が「皆さんの協力が得られ、とても心強い。安心して暮らせるまちをつくりていきたい」と述べ、協定締結団体を代表してNPO法人愛媛県不動産コンサルティンク協会理事長・竹内学さんは「お互いの持ち味を生かし、補いながら課題を解決していきたい」と語りました。今後は、空き家の所有者からの相談に応じ、幅広い分野の相談に対応できるよう、空き家を有効に活用するため官民で協働していきます。

関住宅課 ☎948 6934・FAX 934 1807

「SDGs未来都市・自治体モデル事業」に選ばれました

国は、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて高いポテンシャルを持つ都市を「SDGs未来都市」に、中でも特に独自性が高く、先進的な提案をした都市の事業を「自治体SDGsモデル事業」に選定しています。

7月17日に、本市は四国で初めて2020年度の「SDGs未来都市」と「自治体SDGsモデル事業」の両方に採択されました。

提案したタイトルは「みんなを笑顔に、観光未来都市まつやま」瀬戸内の島・山をつなぐまち。

豊かな自然や観光資源、文化的土壌や地域コミュニティなど、松山の宝であるさまざまな地域資源を将来の子どもたちに引き継いでいくため、松山市SDGs推進協議会を中心に

事業を行います。

人と人、地域と地域が結び付き、互いに支え合い、経済・社会・環境の3側面に新しい価値を創出し、持続可能なまちづくりを進めていきます。



企画戦略課 ☎948 6341・FAX 934 1804、環境モデル都市推進課 ☎948 6960・FAX 934 1861

市長と話そう！ 地域別 タウンミーティング



「住みやすい環境づくり」と「地域づくりと福祉の充実」をテーマに7月24日、地域別タウンミーティングを浮穴公民館で開催しました。参加者からは、まちづくりや空き家対策などへの意見や要望があがりました。

野志市長は、市これまでの取り組み状況などを説明し、「皆さんの大切な税金をお預かりしている中で、工夫しながらできることは何かを考え実施していきたい」と話しました。

意見・要望
・まちづくり協議会が設立されていない地区への市の姿勢を教えてください
・通学路に制限速度30キロの表示を路面にしたい
感想
・市の取り組みや積極的な考え方を確認できて大変よかった
・今まで気付かなかった地域の課題が聞けてよかった

丹生谷 哲夫さん
(森松町)

参加者の声
町内の防災活動に生かしたい

関タウンミーティング課 ☎948 6333・FAX 934 2336

「癒しの北条鹿島」竹灯籠の展示とSNSで北条鹿島の魅力を発信

7月19日から26日までの間、鹿島神社前が幻想的な竹灯籠でライトアップされ、来島者を魅了しました。この企画は、地元の子供たちが市職員と市政の課題を調査や研究して市長に提言する「笑顔のまつやま わがまち工房」で出た案を実現したもの。



トのパネル」などを設置しています。一緒に写真を撮って、ぜひSNS（会員制交流サイト）に「#北条鹿島」で投稿してください。今年の夏は「癒しの北条鹿島」で鹿島のんびり過ごしてみませんか。



関学活性化協議会事務局（まちづくり推進課内） ☎948 6991・FAX 934 1821

2次募集 まちづくり提案制度(次世代育成支援事業)応募団体

若者たちがアイデアを出して行動する「まちづくり活動」を応援しています。

対象 本市在住または通学している児童、生徒、学生3人以上で構成する団体

※メンバーが未成年のみの場合は、大人2人の協力者が必要

内容 令和3年2月28日(日)までに実施する「まちづくり活動」に、5～15万円までの補助金を支給

申し込み 9月30日(水) (必着) までに、直接または郵送で〒790-8571 まちづくり推進課（市役所本館6階）へ

※詳細は市ホームページを確認



関まちづくり推進課 ☎948-6330・FAX 934-1821
まつやまNPOサポートセンター ☎943-5790・FAX 943-5796

消防団の活動拠点

栗井分団消防ポンプ蔵置所が完成

耐震化や機能強化のため、移転・建て替えを進めていた栗井分団消防ポンプ蔵置所が完成。7月18日に落成式を行いました。

式に参加した野志市長は「災害時に地元の消防団員の皆さんの存在が必要。この蔵置所を活動の拠点に、地域の皆さんの安全と安心のため力を尽くしていただきたい」と述べ、栗井分団長の玉江学さんは「気持ちを引き締め、地域の皆さんが安心して暮らせるよう消防団活動に取り組みたい」と語りました。

また、栗井地区の安全・安心への願いを込めた同蔵置所

シャッターデザインを作成した、栗井小学校4年生の津吉花さんに野志市長が感謝状を贈呈しました。



関(消)地域消防推進課 ☎926 9229・FAX 926 9189